

利益相反 Q&A

Q. そもそも、利益相反って何ですか？

A. 研究等において、得られた成果の社会還元(公的利益という。)があります。しかし、産学連携の研究等の場合、金銭や利権等を取得(私的利益という。)する場合があります、この2つの利益が個人の中に生じる状態を利益相反(conflict of interest : COI)といいます。

そのため利益相反状態にあると、公正な姿勢が損なわれるだけでなく、第三者から公正な姿勢を損なっていると疑われる状況が生じ、当人にとっては不利益を被ります。

Q. 対象者に本人以外の配偶者あるいは一親等の親族等が含まれるのはなぜですか？

A. 対象者の配偶者あるいは一親等の親族等は第三者から見ると対象者と経済的に密接な関係にあると見なされます。そのため配偶者あるいは一親等の親族が、産学連携活動の企業等から経済的利益を享受しているとの憶測が出るかもしれません。そのため、それらを開示することによって回避するために必要なことです。

Q. 研究にあたって、企業等から資金援助を受けるのは良くないのでしょうか？

A. そんなことはありません。産学連携の研究は推奨されるべきものです。一方で、資金提供者の利益を優先するような歪曲は許されるものではありません。このような不正の防止や研究の信頼性を得るうえで、研究資金等の提供を公表して透明性を確保することはとても重要なのです。

Q. 発表者が利益相反を開示するメリットは何がありますか？

A. メリットではなくデメリットの防止になります。

研究等の発表において、私的利益を疑われた場合、発表者が事前に適切な情報を開示しておけば、その疑念を払拭することができます。